



健康な体
誠実な心
豊かな知性



尾張旭市立東中学校
学校だより
令和3年度 第6号

先日の三者懇談会、三者が皆「笑顔」になる場面、きっとあったのでは。1学期、皆成長しようと努力したからね。

心に形はないけれど、心ほど形に現れるものなし

梅雨明けとともにクマゼミの鳴き声が大きくなり、今年も暑い夏を予感させます。今日で1学期が終わります。長いようであつという間だったのではないのでしょうか。1学期の振り返りは、各クラスで各自が行ったと思いますが、振り返ったことを、次に活かしてこそ意味があります。活かしてこそですよ。

毎朝の昇降口で感心すること。それは、元気なあいさつ、目を合わせてのあいさつ、会釈付きのあいさつなどのコミュニケーション系と、靴の脱ぎ方、下駄箱への入れ方などのしぐさ・行動系があります。ザラ板の上に靴で乗らない、よその家に行った時のように揃えて靴を脱ぐ、下駄箱にきちんと美しく靴をおさめる、といった所作が、あいさつの仕方が、その人の人となりを語ります。心には形はありませんが、心ほど形に現れるものはありません。

改めて考えてみると、学校生活の中での皆の行動は、それぞれの心の在りようが現れ出ているものです。1学期を振り返ってみて、あいさつは、掃除は、給食の時間は、授業は、服装(そういえば、スカートの丈が短い感じになっている子いますね)は、言葉遣いは、物の扱い方は、どうですか。まちがいなく心が現れていますよね。おそらく「大丈夫」という人がほとんどだと思います。1年生も2年生も、そして3年生も、確実に心が育っていると感じます。でも、そこで満足しないでください。まだまだ伸ばせますよ。

中学校の3年間で、人間としての土台づくりをします。人としての基本を身につけます。その方法として、「形を整える」ことがあります。形を整えることは意識すればできること。それを当たり前になるくらい続けることで、人間としての土台・心ができあがっていくものです。また、昨日まできちんとできていたことが、今日はできない・・・ということもあるでしょう。そんな時は「心が乱れている」「心の健康度が下がっている」ことに気づき、自分をコントロール・修正できるようになります。「形を整える」ことは、とても大事なことです。夏休み中は、それぞれの家庭で心を形に現してくださいね。すれば、2学期、きっといいスタートが切れるはずですよ。いい夏休みを。



[校長]

3年生「最後の夏」終わる

「まだ終わっていない！」と剣道部や陸上部、吹奏楽部、箏曲部等の3年生に叱られそうですが、許してください。中総体地区大会では、3年生を中心に、力一杯の戦いでした。残念ながら、惜しくも上位大会に進めなかった部が多く、3年生は「引退」となります。チームみんなまで目標を立て、努力してきた時間や共に汗を流した仲間が存在が尊いものであることは改めて言うまでもありません。皆が一番わかっていることだと思います。大会の翌日、3年生の皆の顔は、とてもいい顔でした。すべてを出し切り、

次の目標に向けて切り替えたことが伝わってくる表情でした。まだ終わっていない剣道部は男女共に団体戦で県大会に、陸上部も今週の県大会に挑みます。吹奏楽部は26日のコンクールに照準を合わせています。皆から大きな応援を。

—保護者の皆さんへ—

中総体での「無観客」開催等の感染症対策にご協力いただき、本当にありがとうございました。どの種目も無事開催できたことは、保護者の皆様のご理解があってこそ感謝いたします。



○夏休み中も、感染症対策を油断なく。 ○作品募集への応募・出品、中フェスへの参加など、是非ぜひ。